



イベントのご案内

栄区合同タウンミーティング

日時：平成28年4月23日(土)
 時間：16:00~17:30
 会場：栄公会堂
 1号集会室
 住所：横浜市栄区桂町
 279-29
 JR根岸線「本郷台」駅徒歩9分



湘南芸能同好会発表会

あさお慶一郎が会長となり立ち上げた湘南芸能同好会発表会を今年も開催いたします。皆様お誘い合わせの上、ご来場頂ければ幸いです。
 4/29(金) 時間：11:30~17:00
 会場：鎌倉芸術館小ホール
 住所：鎌倉市大船6-1-2



今月の対談 あさお 慶一郎 × 井口 治夫

対談

浅尾 慶一郎
 ×
 井口 治夫

国際情勢が目まぐるしく変わっていく昨今、日米関係の動向が高い関心を集めています。そして、その鍵を握るのが米中関係だと言っても過言ではありません。長年アメリカ合衆国と国際社会の関係を政治経済、歴史学の観点から研究・教育活動を行い、その著書でも高い評価を得ている井口治夫氏をお招きして、その重要性についてお話を伺いました。

井口 治夫 氏プロフィール
 いぐち はるお

1964年 マニラ市生まれ。
 1986年 米国ブラウン大学卒。
 1995年 シカゴ大学大学院社会科学部歴史学専攻Ph.D.取得。ハーバード大学ライシャワー日本研究所ポスドクフェロー。
 1996年 同志社大学アメリカ研究所。
 2002年 名古屋大学における専任教員の研究・教育活動。
 2016年4月より関西学院大学国際学部教授。
 ■著書「鮎川義介と経済的国際主義—満州問題から戦後日米関係へ—」(名古屋大学出版会)当著書でサントリー学芸賞(政治・経済部門)受賞。

浅尾：現在、日米関係は日本にとってとても重要ですが、GDPが日本の倍だった中国との関係も日米関係を語る上で欠かせません。日本にとっての中国、アメリカにとっての中国について、井口先生としてはどのように考えるのが良いと思われますか？

井口：日露戦争以来、アメリカは日本を東アジアにおけるもっとも重要なパートナー国として位置付けてきた事実があります。しかし1940年に日本が三国同盟を結んだあたりで、中国を重要なパートナー国とした時期が10年ほどありました。日本が引き続きアメリカの重要なパートナー国としてあり続ける為には、やはり経済力が重要。あと中国との関係も、アメリカと連携していく上で外交的にうまくやっていく事が求められています。



浅尾：日本の経済力を考える上で、私は新陳代謝を進めなければと思います。そういう意味でも、何かアメリカの取り組みで参考にした方がいい事はありますか？

井口：アメリカの場合は、めまぐるしく提携先を変えていくところがあります。日本は安定的な経営環境を重視してしまい、今まで関わりのない企業やグループとの連携が難しくなっていたわけです。これを今後、柔軟な企業経営に変えていけるかどうか、非常に重要になってきますね。

ライター：Naomi Shimazaki



特別賛助会員募集

「あさお慶一郎君を応援する会」では「特別賛助会員」(5,000円/年)の募集を行っております。ご入会された方には、鎌倉市在住の彫刻家・奥西希生さんがデザインを手掛けた、平成28年の干支である「申」のオリジナルピンバッジをお送りさせていただきます。



- お申し込み記入欄
- ①バスツアー
 - ②竹の子大会
 - ③タウンミーティング
 - ④湘南芸能同好会発表会
 - ⑤特別賛助会員
- ※お申込みをされる項目を○で囲んで下さい

お名前 _____

ご住所 _____

生年月日 _____

電話 _____ 携帯電話 _____

メールアドレス _____